

## 岡山シティミュージアム令和7年度企画展 「広がる大地－絵図でたどる児島湾のかんたく－」を開催します

岡山南部の干拓地がおりなす景観は、岡山の大きな特徴です。岡山シティミュージアム開館20周年である本年度最後の展覧会は、「干拓」をとりあげます。土地が広がりゆく様子を、岡山大学図書館「池田家文庫」や岡山市立中央図書館の絵図資料を通じてご覧いただけます。

### 1 日時

令和8年2月14日(土)～令和8年3月29日(日)

開館時間 10時～18時(最終入館は、17時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし2月23日[月・祝]は開館し、翌24日[火]が休館)

### 2 場所

岡山シティミュージアム 4階企画展示室(北区駅元町)

### 3 主催

岡山シティミュージアム

### 4 内容

シティミュージアムは、「古代吉備」「岡山城と城下町」「干拓」を、岡山の成り立ち3大要素と位置づけ、開館以来、ミュージアムの主要なテーマとして様々な形で紹介してきました。開館20周年である本年度最後の展覧会は、3大テーマのうち、「干拓」をとりあげます。

岡山南部に広がる岡山平野は、かつて、島々が浮かぶ「吉備の穴海」と呼ばれた海でした。戦国時代から、岡山の人々は海を干し、農地に変える「干拓」により、2万ヘクタールの大地を生み出したのです。

干拓によってできた景観は、岡山の大きな特徴です。本展では、児島湾周辺の土地が広がりゆく様子を、絵図を通してご覧いただけます。岡山大学図書館「池田家文庫」や岡山市立中央図書館の資料のほか、岡山シティミュージアム所蔵の「旧妹尾支所資料群」の一部を初公開します。

土地を広げることにささげた岡山人の情熱、そして人間の欲求を、改めて考えてみたいと思います。



絵図を、現代の地図や写真と比べながら、「かんたく」のスケールを感じていただきます。

開墾が進む前の児島湾周辺



備前国九郡絵図  
寛永15年(1638)頃  
岡山大学図書館「池田家文庫」

上道郡の開発



沖新田東西之図(市指定文化財)  
文政元年(1818)12月  
岡山市立中央図書館

興除新田の開発



(興除新田開発目論見略図)  
岡山大学図書館「池田家文庫」



用水を走る! ▼上道郡倉安川絵図 安政3(1856)年4月 岡山大学図書館「池田家文庫」(実寸大複製展示)



一の荒手(土木遺産)



泉水樋門



旭川



倉安川



吉井水門(県指定史跡)



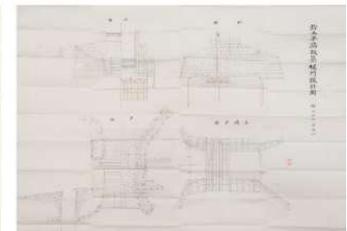
初公開!旧妹尾支所資料群 岡山シティミュージアム



(児島湾御新開地用水路絵図)  
文政5(1822)年12月



(児島干潟新開地悪水抜普請絵図)  
文政6(1823)年3月



弥五平脇改築樋門設計図

## 5 関連行事

### ① 「かんたく」を深掘する講座 全2回

3月8日(日) 定兼学さん(山陽学園大学特任教授)

「大地がひろがる前のお話ー備前と備中の100年戦争ー」

3月21日(土) 樋口輝久さん(岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授)

「先人たちはどのようにして大地を広げてきたのか？」

ーその技術と歴史に迫る!ー

### ② みんなで「かんたく展」を観よう 全3回 企画展担当学芸員による展示案内

2月14日(土)、3月1日(日)、3月28日(土)

#### 【問い合わせ先】

岡山市 岡山シティミュージアム 須藤 直通086-898-3000